

あなたの声を笛吹市のまちづくりに
H25年度 まちづくり基礎調査票
(アンケート)

市民の皆さまには、日頃から市政に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

また、このたびの記録的な大雪により、被害にあわれた皆さまに、心からお見舞いを申し上げますとともに、各地域の皆さまが一丸となって生活道路等の除雪を率先して実施して頂いたことに心より感謝申し上げます。

さて、笛吹市では、住みよいまちづくりを計画的に進めていくために、第1次笛吹市総合計画に掲げた施策の現状を把握し、今後のまちづくりの方向性を判断するためのアンケート調査を実施しております。

この調査をお願いするのは、笛吹市内にお住まいの20歳以上の男女の中から無作為に選ばせていただいた2,000人の皆さまです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ぜひとも趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成26年3月

笛 吹 市



イメージキャラクター「フッキー」

1. 宛名のご本人がお答えください。
2. ご記入いただいた調査票は**4月18日(金)**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投かんしてください。(切手は不要です。)
3. お名前を記入する必要はありません。また、調査結果は統計的に処理し、市のホームページでお知らせいたします。お寄せいただいたご意見については個人が特定できないように編集したうえで、紹介させていただく場合があります。
4. この調査票についてのお問い合わせは下記にお願いします。

笛吹市役所 経営政策部財政課行政改革担当

電話 055-262-4111(代)内線 117

FAX055-262-4115

まちづくり市民アンケート 調査票

あなたご自身についてお伺いします

あなたの性別について、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

あなたの年齢について、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳～29歳 | 2. 30歳～39歳 | 3. 40歳～49歳 |
| 4. 50歳～59歳 | 5. 60歳～64歳 | 6. 65歳～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

あなたのお住まいについて、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|--------|------------|---------|
| 1. 石和町 | 2. 御坂町 | 3. 一宮町 |
| 4. 八代町 | 5. 境川町 | 6. 春日居町 |
| 7. 芦川町 | 8. その他 () | |

あなたの家族構成について、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|-----------------|------------|---------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代同居（親と子） |
| 4. 3世代同居（親と子と孫） | 5. その他 () | |

あなたの職業について（兼業の方は主な職業）、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|--------------|-------------------|------------|
| 1. 農林業 | 2. 自営業（商工業・サービス業） | 3. 会社員（常勤） |
| 4. 会社員（パート等） | 5. 公務員・団体職員 | 6. 家事従事者 |
| 7. 学生 | 8. 無職 | 9. その他 () |

次に、あなたの生活についてお伺いします。

該当する番号1つに〇を付けてください。

問1 あなたは、現在、健康で充実した生活を送っていますか。

1. はい 2. いいえ



問2 あなたは、現在、健康のために続けていることがありますか。

1. はい 2. いいえ

(例：健康診断の受診、食生活の改善、運動の継続、健康づくりサークルへの参加、など)

問3 あなたは、現在、何らかの運動やスポーツを続けていますか。

1. はい 2. いいえ

問4 あなたは、現在、何らかの学習を続けていますか。

1. はい 2. いいえ

(例：英会話、書道、手芸、陶芸、俳句、パソコン教室、歴史探訪、など)

問5 あなたは、日ごろからエコ（環境）活動に取り組んでいますか。

1. はい 2. いいえ

(例：暖房温度を下げる、ごみを減らす、マイカー利用を控える、など)

問6 あなたのお住まいの住宅は、次のうちどれに該当しますか。

1. 一戸建て 2. 共同住宅等（賃貸） 3. 共同住宅等（持ち家）

問7 あなたの家には、住宅用火災警報器を設置してありますか。

1. はい 2. いいえ

（住宅用火災警報器の設置は条例で義務付けられています。）



問8 あなたは、昨年中に笛吹市営温泉を利用しましたか。

1. はい 2. いいえ

（笛吹市営温泉：石和なごみの湯、みさかの湯、一宮ももの里温泉）

問9 あなたは、笛吹市内の公園を利用していますか。

1. はい 2. いいえ

問10 あなたは、市民活動や自治会活動に参加していますか。

1. はい 2. いいえ

問11 あなたは、笛吹市の文化遺産¹や地域の文化や伝統芸能を見たり触れたりしたことがありますか。

1. ある 2. ない 3. よくわからない

¹ 文化遺産：人の活動によって生み出された文化的な遺産。埋蔵物、建造物、美術工芸品、民俗芸能、史跡・名勝、文化的景観などがある。

つづいて、市役所の住民サービスについてお伺いします。

該当する番号1つに○を付けてください。

問 12 笛吹市役所は、窓口サービスが充実し、便利だと思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 13 あなたは、日曜日に笛吹市役所本庁で窓口サービスを受けられることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(税金の納付、婚姻・死亡の届出、住民票・戸籍・印鑑の証明、所得の証明等の手続き)

問 14 笛吹市では、全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートで、住民票と印鑑証明が取得できることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートで証明書を取得する際には、あらかじめ【住基カード】を作っておく必要があります。)

問 15 あなたは、広報ふえふきを読んでいますか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 毎月読んでいる | 2. ときどき読んでいる |
| 3. ほとんど読んでいない | 4. 読んだことがない |



問 16 あなたは、笛吹市役所のホームページを見ていますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. いつも見ている | 2. ときどき見ている |
| 3. ほとんど見ていない | 4. 見たことがない |

(ホームページは、パソコンや携帯電話で見る情報番組です。)

問 17 あなたは、笛吹市役所の情報が十分に伝えられていると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 18 あなたは、市（長）に対して意見を言う機会が用意されていると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

(笛吹市は、市長への手紙、市民ミーティングなど、市政に対して意見を言う仕組みがあります。)

最後に、まちづくりについて、あなたの考えをお聞かせください。

該当する番号1つに○を付けてください。

問 19 あなたは、社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 20 あなたは、年をとったり病気になったりしても安定した生活が送れると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

(年金保険・健康保険・介護保険は、困った時にあなたの生活を支えてくれます。)

問 21 あなたは、年金保険・健康保険・介護保険のこと(仕組み、サービス、保険料)を理解していますか。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 理解している | 2. 少し理解している | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり理解していない | 5. 理解していない | 6. よくわからない |

(公的保険は国民全員の加入と保険料負担が義務づけられています。保険料は必ず納めましょう。)

問 22 あなたは、ハンディキャップのある方が住みやすい社会だと思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 23 笛吹市は、安心して子どもを産み育てる環境が整っていると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |



問 24 笛吹市は、鉄道やバスの接続がよく、利用しやすいまちだと思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 25 笛吹市は、幹線道路が整備され、市内外への移動が円滑にできるまちだと思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 26 あなたが住んでいる地域は、生活用の道路や水路が整備されていると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 27 笛吹市の市街地は、街としての魅力が高まっていると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

問 28 あなたが住んでいる地域は、消防や救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができると思いますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |



問 29 あなたが住んでいる地域は、花や緑にあふれ、
身近に自然とふれあうことができますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

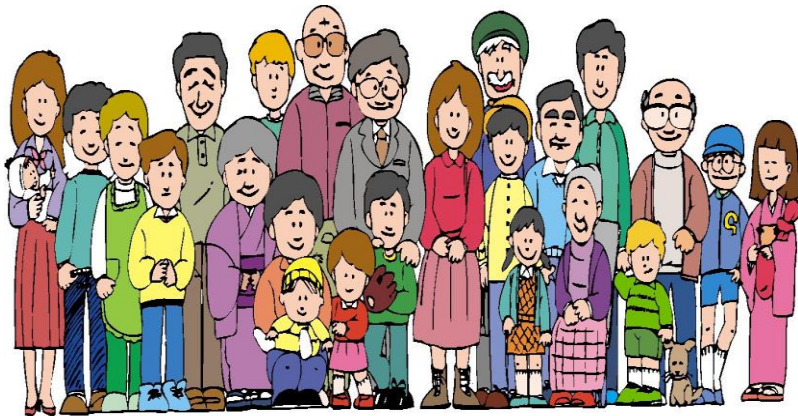
問 30 あなたが住んでいる地域は、公害や不法投棄がなく、衛生的に暮らすことができると思えますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |

(公害：大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭など)

問 31 笛吹市は、市民活動や自治会活動が活発だと思えますか。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 少し思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. よくわからない |



問 32 あなたは、まちづくりにおける『協働』²について知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 33 あなたは、市民提案による『笛吹市男女共同参画推進条例』³が制定されたことを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

² 協働： 市民と行政が対等な立場で協力し、地域の発展や課題解決などまちづくりに取り組むこと。

³ 笛吹市男女共同参画条例： 平成 23 年 9 月に制定された。市、市民、事業者及び自治組織等が、協働して積極的に男女共同参画に取り組む基本的な方向を示している。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

自由記入欄

(今年、笛吹市は誕生から 10 年という節目を迎えます。今後のまちづくり全般についてご意見等がございましたらご記入をお願いします。)



ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れ、
4月18日(金)までにポストに投かんしてください。
切手は不要です。

平成25年度 まちづくり基礎調査結果 報告書

平成 26 年 3-4 月実施

笛吹市



イメージキャラクター『フッキー』

— まちづくり基礎調査の実施概要 —

①目的

- ・住みよいまちづくりを計画的に進めていくために、第1次笛吹市総合計画に掲げた施策の現状（市民の意識や日頃の行動等、基本計画に掲載された各施策の達成度を判断する指標）を把握し、今後のまちづくりの方向性を判断するため実施するものである。

②調査対象

- ・笛吹市内在住の20歳以上の市民2,000人を抽出。（性別、年齢階層別に抽出）

③調査方法・調査期間

- ・郵送配布、郵送回収で実施。
- ・平成26年3月25日から平成26年4月18日

④回収結果

○全体

送付数	2,000
回答数	914
回収率	45.7%
（自由記入欄 回答数）	286

○性別

	送付数	回答数	回収率	構成率
男	1,000	402	40.2%	44.0%
女	1,000	503	50.3%	55%
不明		9		1.0%

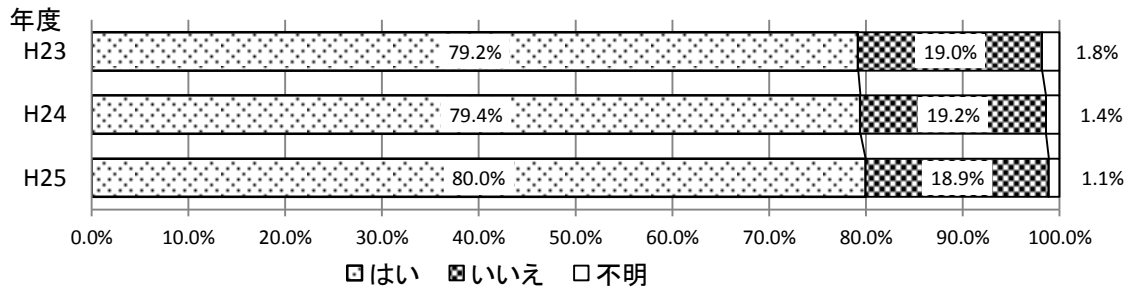
○年齢階層別

	送付数	回答数	回収率	構成率
20～29歳	336	94	28.0%	10.3%
30～39歳	332	112	33.7%	12.3%
40～49歳	332	129	38.9%	14.1%
50～59歳	332	156	47.0%	17.1%
60～69歳	332	210	63.3%	23.0%
70歳～	336	205	61.0%	22.4%
不明		8		0.9%

○地域別

	回答数	構成率
石和町	334	36.5%
御坂町	168	18.4%
一宮町	156	17.1%
八代町	103	11.3%
境川町	52	5.7%
春日居町	87	9.5%
芦川町	4	0.4%
その他・不明	10	1.1%

問 1 健康で充実した生活を送っている市民の割合



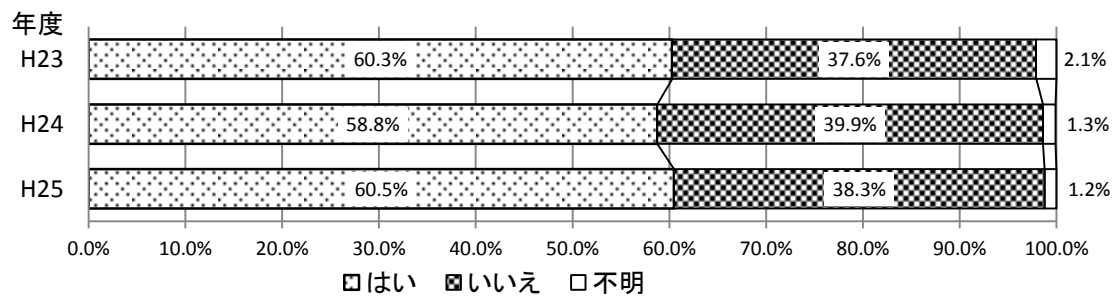
『あなたは、現在、健康で充実した生活を送っていますか』の問いに対して、「はい」が 80.0%、「いいえ」は 18.9%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、30歳代が 89.3%で最も高く、70歳以上が 70.7%と最も低くなっている。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	79.2%	80.3%	91.1%	89.3%	84.2%	78.0%	79.7%	68.0%	
H24	79.4%	81.9%	88.2%	91.0%	87.7%	83.6%	79.5%	61.1%	
H25	80.0%	81.9%	87.2%	89.3%	86.8%	76.9%	81.4%	70.7%	

問 2 健康に心がけている市民の割合



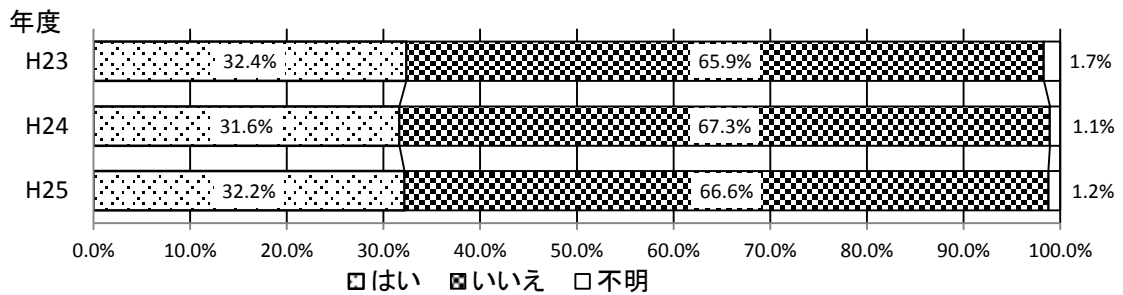
『あなたは、現在、健康のために続けていることがありますか』の問いに対して、「はい」が 60.5%、「いいえ」が 38.3%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、50歳以上の階層で 60%を超えており、問 1 の健康に何らかの不安を持つ割合が高くなる年齢階層において、健康に心がけている割合が高くなる傾向がうかがえる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	60.3%	62.0%	42.3%	42.7%	54.8%	65.9%	71.3%	72.3%	
H24	58.8%	62.1%	37.6%	51.9%	50.0%	65.0%	66.3%	69.7%	
H25	60.5%	58.1%	42.6%	47.3%	47.3%	67.3%	69.0%	72.2%	

問3 運動やスポーツを続けている市民の割合



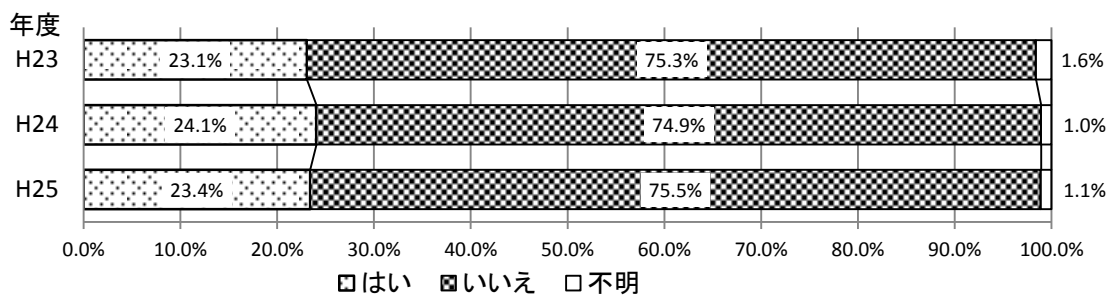
『あなたは、現在、何らかの運動やスポーツを続けていますか』の問いに対して、「はい」が32.2%、「いいえ」が66.6%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、70歳代が46.3%で最も高く、40歳代が17.8%と最も低くなっており、問2の健康に心がけている割合が高い50歳代以上の階層で運動やスポーツを続けている割合が高くなる傾向がうかがえる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	32.4%	29.7%	26.8%	25.2%	26.0%	33.5%	38.6%	38.1%	
H24	31.6%	29.8%	31.2%	22.6%	18.5%	32.8%	37.9%	41.9%	
H25	32.2%	27.2%	24.5%	21.4%	17.8%	29.5%	39.0%	46.3%	

問4 何らかの学習を続けている市民の割合



『あなたは、現在、何らかの学習を続けていますか』の問いに対して、「はい」が23.4%、「いいえ」が75.5%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、20歳代が29.8%で最も高く、仕事や育児の中心世代となる30歳代から50歳代の階層で20%未満となっている。

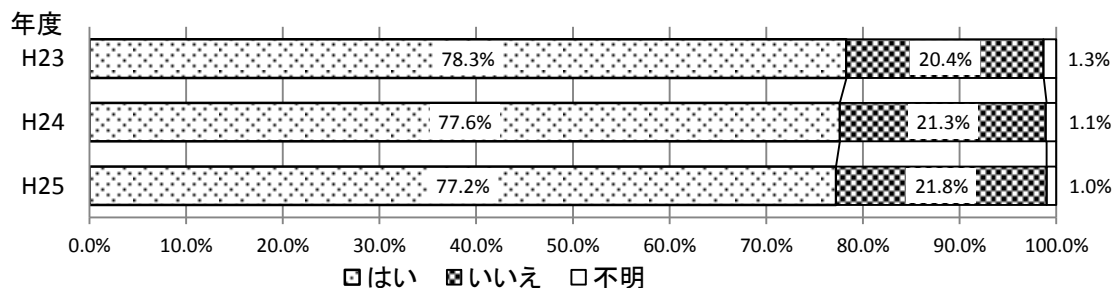
このことから、生涯学習の機会を提供していくうえでは、引き続き開催時間の設定や内容の見直し等、ニーズにあった取り組みを進めていくことが重要であると考えられる。



《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	23.1%	20.0%	26.2%	23.6%	16.8%	16.4%	20.7%	27.7%	29.4%
H24	24.1%	21.9%	26.1%	34.4%	18.8%	16.4%	27.7%	24.2%	25.8%
H25	23.4%	22.4%	24.5%	29.8%	17.9%	15.5%	18.6%	28.1%	27.8%

問5 日ごろからエコ活動に取り組んでいる市民の割合



『あなたは、日ごろからエコ（環境）活動に取り組んでいますか』の問いに対して、「はい」が77.2%、「いいえ」が21.8%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、40歳代以上の階層で80%程度となっており、20歳代が64.9%と最も低くなっている。

平成23年度からの調査結果を見ても、70%を超える高い水準を維持していることから、若い世代へのより一層の啓発によって、さらにエコ活動に対する取り組みが高まることが考えられる。

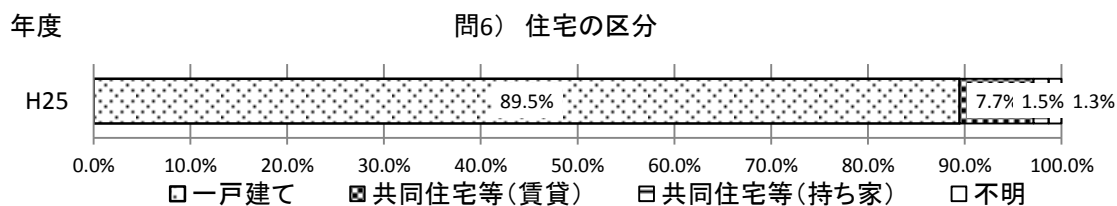
《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	78.3%	73.0%	84.4%	54.5%	70.2%	82.2%	86.0%	89.6%	81.0%
H24	77.6%	73.0%	82.1%	62.4%	70.7%	76.0%	84.2%	84.2%	81.8%
H25	77.2%	73.1%	81.5%	64.9%	69.6%	80.6%	79.5%	81.9%	81.0%

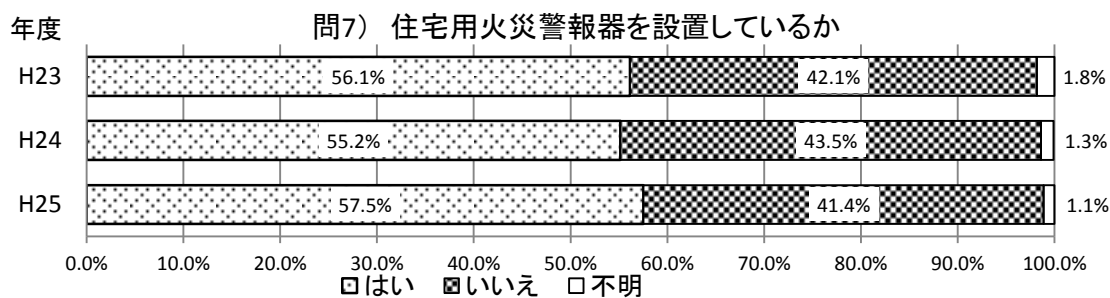


問6 住宅区分の割合

問7 住宅用火災警報器が設置されている市民の割合



『あなたのお住まいの住宅は、次のうちどれに該当しますか』の問いに対して、「一戸建て」が89.5%、「共同住宅等(賃貸)」が7.7%、「共同住宅等(持ち家)」が1.5%となっている。



『あなたの家には、住宅用火災警報器を設置してありますか』の問いに対して、「はい」が57.5%、「いいえ」が41.4%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、30歳代が66.1%で最も高く、50歳代が47.4%と最も低くなっている。

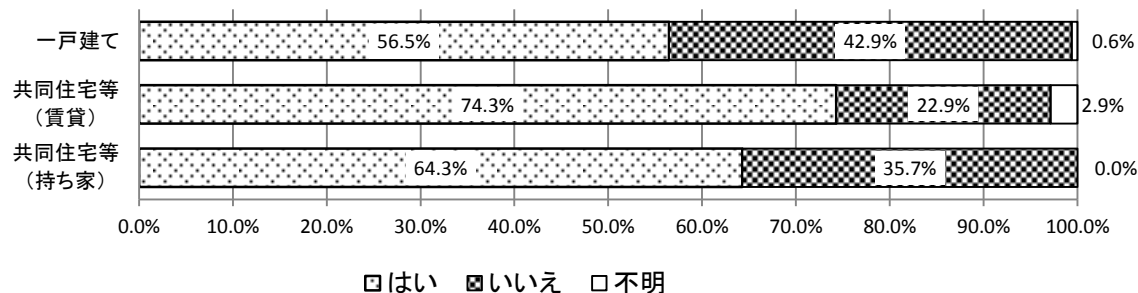
住宅用火災警報器については、平成23年6月1日から全ての住宅に設置が義務付けられており(新築については平成18年6月1日から)、今後も設置義務化前に建築された既存住宅の所有者に対する設置促進活動が重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

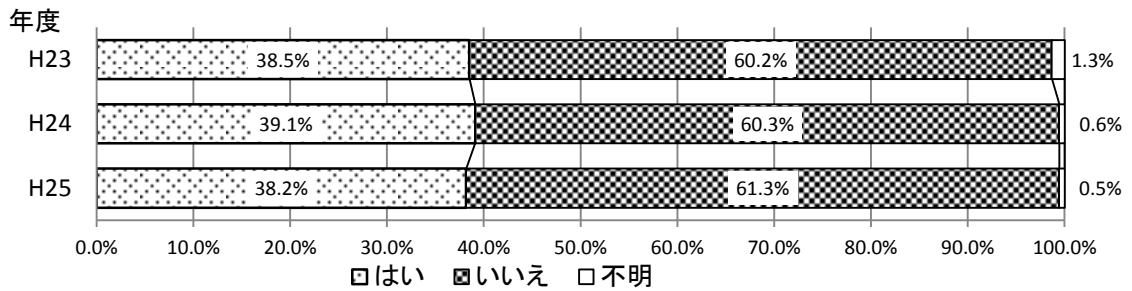
全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	56.1%	54.9%	58.3%	59.3%	61.8%	56.8%	58.5%	50.5%	56.3%
H24	55.2%	53.4%	56.6%	64.5%	72.2%	47.3%	48.0%	48.4%	58.6%
H25	57.5%	56.5%	58.3%	57.4%	66.1%	58.1%	47.4%	56.2%	61.0%

※参考① 【消防庁発表推計普及率 (H25.6.1時点) 全国：79.8%、山梨県：72.0%】

※参考② 住宅区分別の火災警報器設置状況 (問6・7クロス集計)



問 8 昨年中に市営温泉を利用した市民の割合



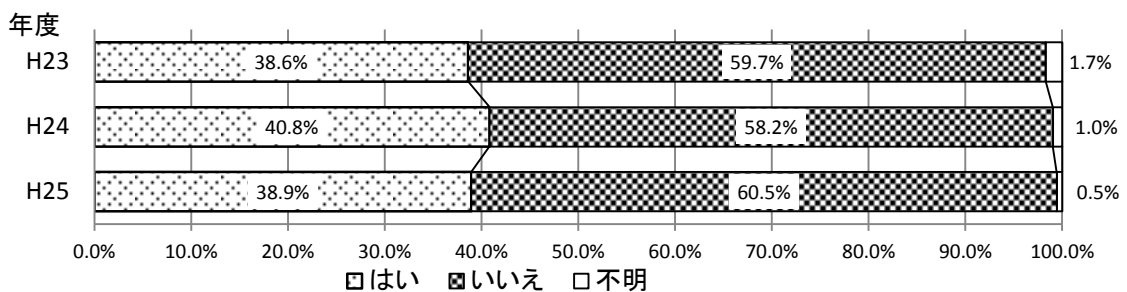
『あなたは、昨年中に笛吹市営温泉を利用しましたか』の問いに対して、「はい」が 38.2%、「いいえ」が 61.3%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、60 歳以上の階層で 40%を超えていることから、市営温泉が高齢者福祉の増進に一定程度寄与していることが考えられる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	38.5%	42.0%	35.6%	35.0%	30.5%	36.3%	39.6%	38.1%	46.8%
H24	39.1%	37.3%	40.3%	35.5%	27.8%	34.9%	39.0%	40.0%	50.5%
H25	38.2%	40.8%	36.2%	38.3%	31.3%	30.2%	29.5%	45.7%	45.9%

問 9 市内の公園を利用している市民の割合



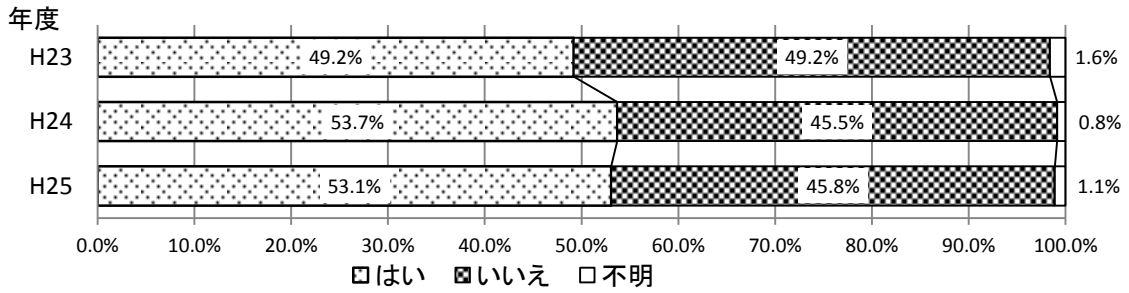
『あなたは、笛吹市内の公園を利用していますか』の問いに対して、「はい」が 38.9%、「いいえ」が 60.5%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、30 歳代が 53.6%で最も高くなっていることから、子育て世代の中心と考えられる年齢階層の利用が高いことがうかがえる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	38.6%	37.9%	39.7%	39.8%	61.8%	45.9%	27.4%	38.1%	30.7%
H24	40.8%	44.3%	38.4%	36.6%	60.9%	42.5%	33.3%	37.9%	38.9%
H25	38.9%	40.0%	38.4%	40.4%	53.6%	41.1%	32.1%	37.6%	36.1%

問 10 市民活動や自治会活動に参加している市民の割合



『あなたは、市民活動や自治会活動に参加していますか』の問いに対して、「はい」が 53.1%、「いいえ」が 45.8%となっている。

「はい」と答えた割合を年齢階層別に見ると、60 歳代が 63.8%で最も高く、20 歳代が 24.5%と最も低くなっており、年齢階層により大きな差が出ている。

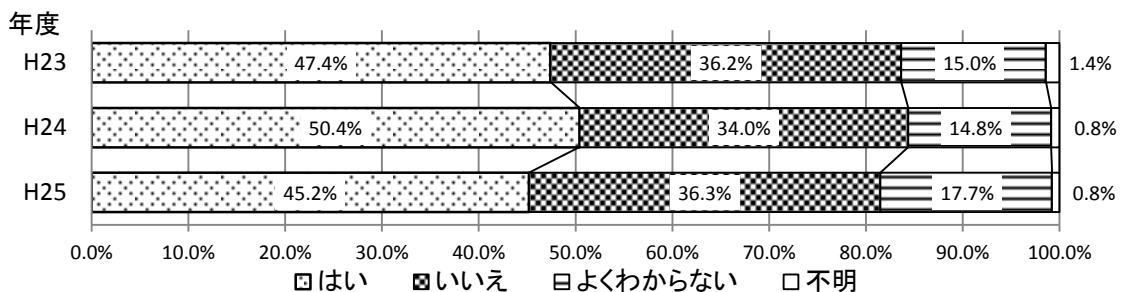
活動参加者の中心は 40 歳代以上という傾向となっているが、昨年に続いて 20 歳代の「はい」と答えた割合が 4.1 ポイント増加し、20%台を維持していることから、市民活動や自治会活動への参加者の広がりがうかがえる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	49.2%	54.7%	44.7%	11.4%	43.5%	54.8%	61.0%	66.8%	45.9%
H24	53.7%	57.4%	51.4%	20.4%	48.9%	58.9%	63.8%	61.1%	53.5%
H25	53.1%	62.7%	45.7%	24.5%	41.1%	60.5%	60.9%	63.8%	51.7%



問 11 文化遺産や地域の文化や伝統芸能を見たり触れたりしたことのある市民の割合



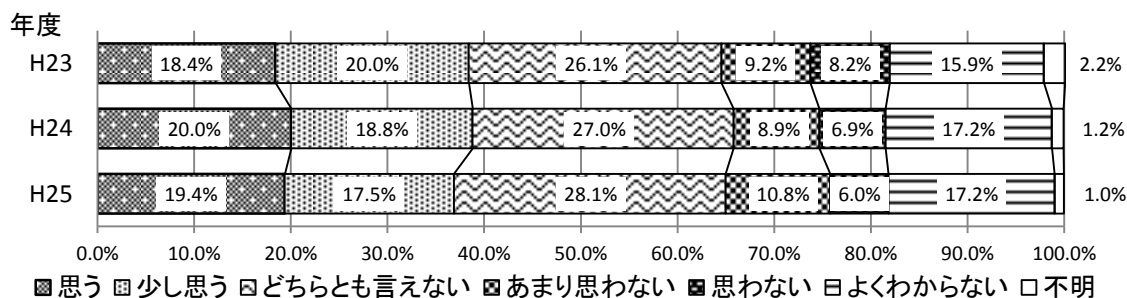
『あなたは、笛吹市の文化遺産や地域の文化や伝統芸能を見たり触れたりしたことがありますか』の問いに対して、「はい」が 45.2%、「いいえ」が 36.3%となっている。

「はい」と答えた割合を H24 年度と比較すると、5.2 ポイント減少していることから、引き続き甲斐国千年の都として身近に歴史・文化にふれることができる環境の整備とその PR が重要と考えられる。

《クロス集計結果》「はい」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	47.4%	47.1%	47.5%	32.5%	41.2%	39.0%	44.5%	58.4%	57.1%
H24	50.4%	48.1%	52.1%	48.4%	46.6%	45.9%	54.2%	55.3%	50.0%
H25	45.2%	50.7%	40.6%	33.0%	30.4%	42.6%	48.1%	50.5%	52.7%

問 12 窓口サービスが充実し、便利だと思う市民の割合



『笛吹市役所は、窓口サービスが充実し、便利だと思いますか』の問いに対して、「思う」が19.4%、「少し思う」が17.5%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は36.9%となっている。

「思う意向」をH24年度と比較すると、1.9ポイントの減少、H23年度からの調査結果を見ても、30%台の水準で推移している。

本庁舎耐震改修に伴い、南館に住民課・税務課等の窓口が移転し、保健福祉センター隣接となったことで、利用の多い窓口サービスのハード面の利便性は向上したと考えられるが、「思う意向」の増加に繋がっていない状況である。

なお、アンケートの自由記入欄に職員対応への不満に関する意見が多く見られることから、接遇等のソフト面もさらに向上させていくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

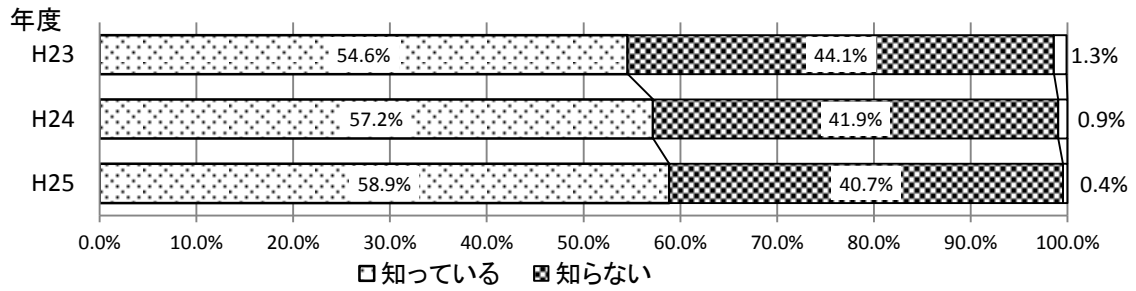
全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	38.4%	40.4%	37.3%	29.3%	23.7%	27.4%	35.3%	48.5%	52.8%
H24	38.8%	40.3%	37.5%	36.9%	27.8%	28.1%	32.2%	46.3%	58.6%
H25	36.9%	40.5%	34.4%	28.8%	25.9%	32.6%	29.5%	39.1%	53.7%

笛吹市役所接遇マニュアル

～ベストな接遇を考え実践！～



問 13 日曜日に本庁で窓口サービスを受けられることを知っている市民の割合



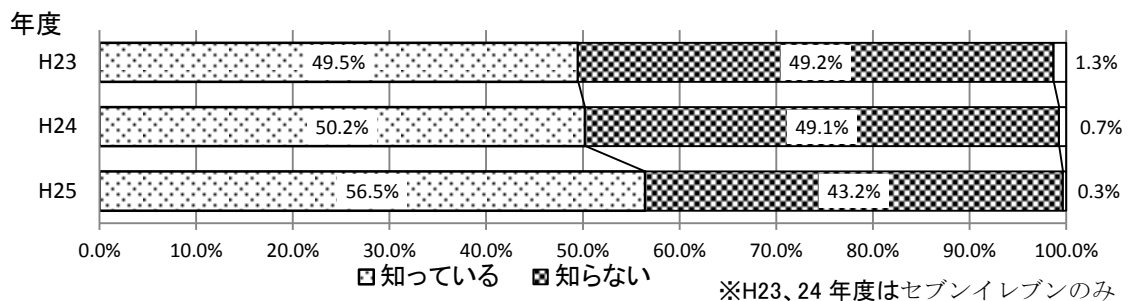
『あなたは、日曜日に笛吹市役所本庁で窓口サービスを受けられることを知っていますか』の問いに対して、「知っている」が58.9%、「知らない」が40.7%となっている。

「知っている」と答えた割合をH24年度と比較すると、1.7ポイントの増加となっていることから、引き続き市民サービス充実の取り組みの一つである日曜窓口サービスを周知していくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「知っている」と答えた割合

	全体	性別		年齢階層					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
H23	54.6%	53.2%	56.4%	46.3%	55.7%	50.7%	53.7%	62.9%	55.8%
H24	57.2%	52.4%	60.3%	44.1%	63.2%	54.1%	58.8%	61.6%	55.1%
H25	58.9%	55.7%	61.2%	51.1%	57.1%	60.5%	55.1%	60.5%	63.4%

問 14 全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートで、住民票と印鑑証明が取得できることを知っている市民の割合



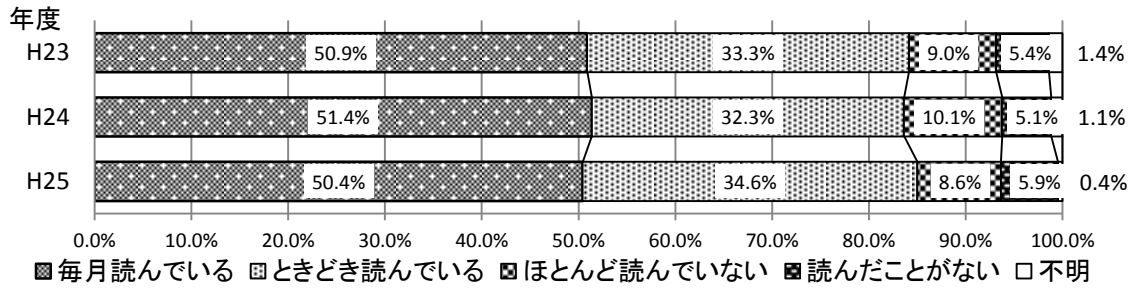
『笛吹市では、全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートで、住民票と印鑑証明が取得できることを知っていますか』の問いに対して、「知っている」が56.5%、「知らない」が43.2%となっている。

「知っている」と答えた割合をH24年度と比較すると、6.3ポイントの増加となっていることから、引き続き全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートで取得できるという利便性(市民サービス充実の取り組み)の周知を行うことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「知っている」と答えた割合

	全体	性別		年齢階層					
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
H23	49.5%	47.9%	51.0%	43.9%	38.9%	50.0%	45.1%	51.0%	59.7%
H24	50.2%	44.1%	54.5%	48.4%	53.4%	48.6%	49.2%	46.8%	53.5%
H25	56.5%	56.2%	56.5%	56.4%	57.1%	56.6%	62.2%	51.0%	57.1%

問 15 広報ふえふきを読んでいる市民の割合



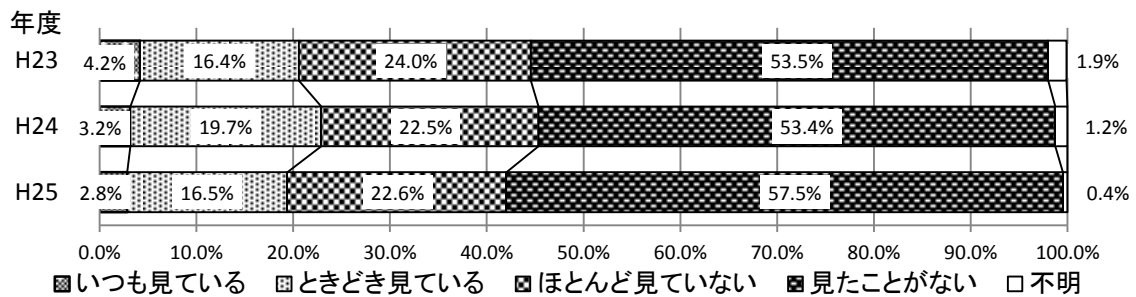
『あなたは、広報ふえふきを読んでいますか』の問いに対して、「毎月読んでいる」が 50.4%、「ときどき読んでいる」が 34.6%となり、「毎月読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせた「読んでいる割合」は 85.0%となっている。

平成 23 年度からの調査結果を見ても、80%を超える高い水準を維持していることから、引き続き本市の動向等をわかりやすく伝えていくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「毎月読んでいる」又は「ときどき読んでいる」と答えた割合

全体	性別		年齢階層					
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
H23	84.2%	85.9%	52.9%	75.6%	85.7%	89.0%	94.0%	94.4%
H24	83.7%	86.9%	48.4%	82.0%	81.5%	84.7%	92.1%	94.0%
H25	85.0%	87.3%	62.8%	68.8%	89.9%	85.9%	90.4%	94.7%

問 16 市役所のホームページを見ている市民の割合



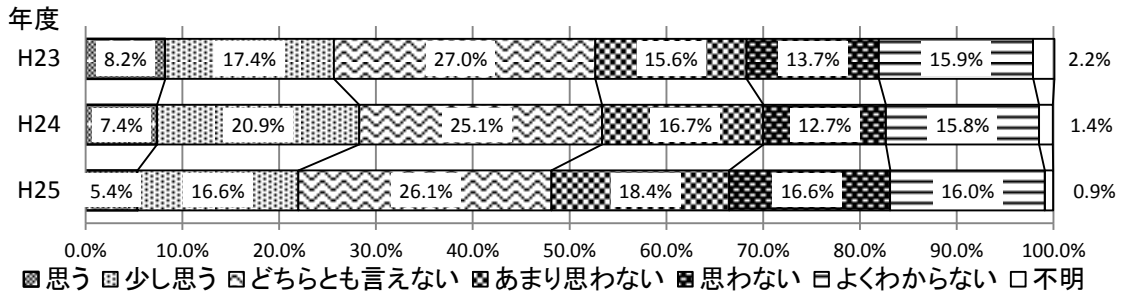
『あなたは、笛吹市役所のホームページを見えていますか』の問いに対して、「いつも見ている」が 2.8%、「ときどき見ている」が 16.5%となり、「いつも見ている」と「ときどき見ている」を合わせた「見ている割合」は 19.3%となっている。

問 15 の広報ふえふきを見ている割合と比較すると、低い水準となっているが、インターネットが普及した環境下において、市役所のホームページが市の情報等を即時に伝えることができる手段であることの重要性をより一層 PR していくことが課題と考えられる。

《クロス集計結果》「いつも見ている」又は「ときどき見ている」と答えた割合

全体	性別		年齢階層					
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
H23	20.6%	20.6%	10.6%	24.5%	20.6%	17.0%	18.4%	28.2%
H24	22.9%	20.5%	19.4%	27.1%	24.0%	24.9%	17.4%	23.8%
H25	19.3%	16.5%	23.4%	21.4%	21.7%	18.0%	14.3%	20.9%

問 17 市役所の情報が十分に伝えられていると思う市民の割合



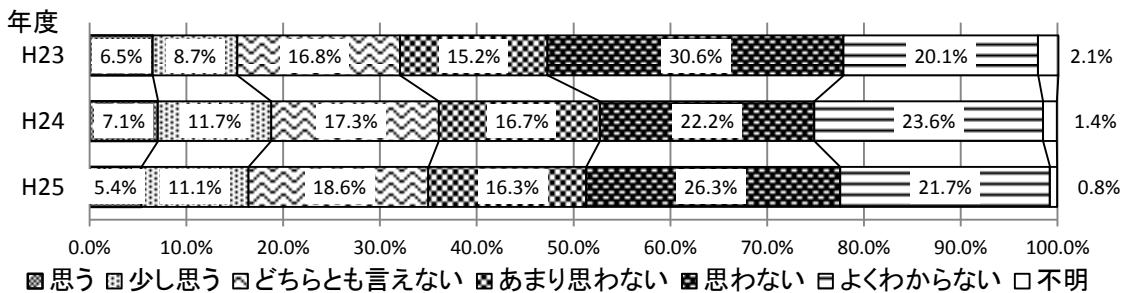
『あなたは、笛吹市役所の情報が十分に伝えられていると思いますか』の問いに対して、「思う」が 5.4%、「少し思う」が 16.6%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 22.0%となっている。

「思う意向」を H24 年度と比較すると、6.3 ポイント減少し、全ての年齢階層でもポイントが減少していることから、知りたい情報が、知りたいときに簡単に手に入るように、引き続き本市の情報をあらゆる機会、媒体を活用して発信していくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	25.6%	25.3%	25.8%	12.2%	14.5%	17.8%	22.0%	29.7%	42.8%
H24	28.3%	28.9%	27.9%	23.7%	23.3%	22.6%	28.8%	26.3%	39.9%
H25	22.0%	26.1%	18.9%	17.1%	11.6%	17.9%	17.9%	25.7%	32.2%

問 18 市（長）に対して意見を言う機会が用意されていると思う市民の割合



『あなたは、笛吹市は市（長）に対して意見を言う機会が用意されていると思いますか』の問いに対して、「思う」が 5.4%、「少し思う」が 11.1%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 16.5%となっている。

「思う意向」を H24 年度と比較すると、2.3 ポイント減少し、H23 年度からの調査結果を見ても、10%台の低い水準で推移している。

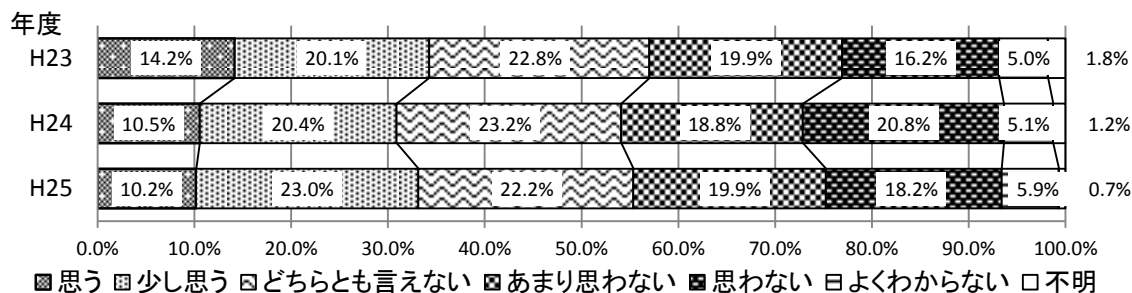
また、アンケートの自由記入欄に市民の声を市政に反映させてほしいとの意見が多く見られることから、引き続き市民ミーティング、各種審議会等への市民参加（公募）、各種アンケート調査等、市民の声を聞き、市政に生かす仕組みづくりを強化していくことが課題と考えられる。



《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	15.2%	16.7%	13.9%	7.3%	6.9%	6.2%	12.8%	23.3%	24.7%
H24	18.8%	20.4%	17.9%	14.0%	16.6%	13.0%	18.0%	23.6%	23.7%
H25	16.5%	16.7%	16.3%	11.7%	16.1%	16.3%	13.5%	18.1%	19.5%

問 19 社会全体でみた場合、男女の地位が平等になっていると思う市民の割合



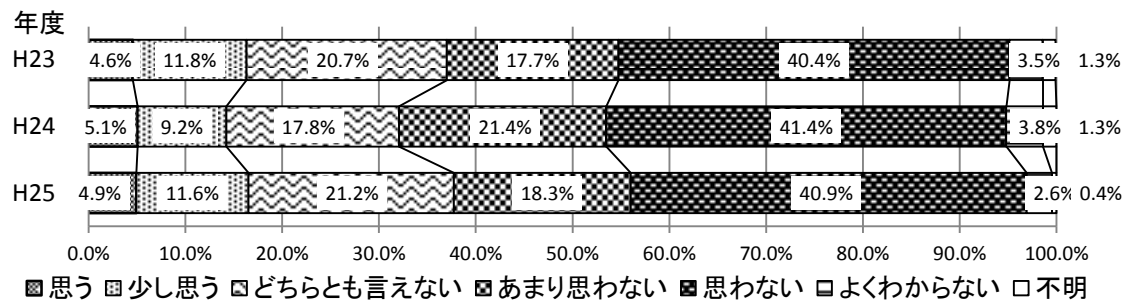
『あなたは、社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか』の問いに対して、「思う」が 10.2%、「少し思う」が 23.0%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 33.2%となっている。

「思う意向」を男女別に見ると、男が 42.8%、女が 25.5%、H23 年度からの調査結果を見ても、女性は男性ほど男女の地位が平等になっているとは考えておらず、男女間の認識に差があることがうかがえる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	34.3%	41.2%	28.2%	34.2%	17.6%	22.6%	33.0%	40.1%	47.1%
H24	30.9%	40.3%	23.6%	26.9%	20.3%	22.6%	28.2%	33.2%	45.4%
H25	33.2%	42.8%	25.5%	27.6%	25.9%	31.8%	27.0%	32.4%	45.8%

問 20 年をとったり病気になったりしても安定した生活が送れると思う市民の割合



『あなたは、年をとったり病気になったりしても安定した生活が送れると思いますか』の問いに対して、「思う」が 4.9%、「少し思う」が 11.6%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 16.5%となっている。

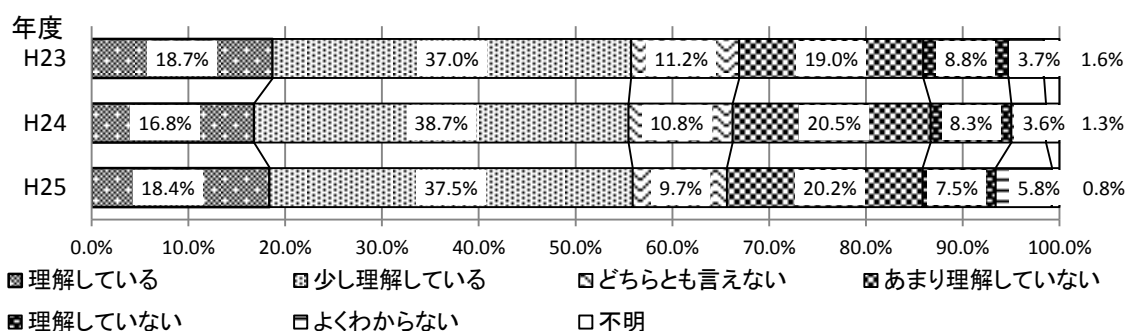
「思う意向」をH24年度と比較すると、2.2ポイント増加したものの、H23年度からの調査結果を見ると、10%台の低い水準で推移している。

なお、アンケートの自由記入欄に医療・福祉・介護環境の充実や雇用環境の改善に関する意見が多く見られることから、近年の社会・経済情勢の変化に伴う老後への不安が表れたものと考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	16.4%	17.6%	15.4%	3.3%	5.4%	5.5%	13.4%	23.7%	32.5%
H24	14.3%	16.6%	12.2%	14.0%	5.3%	5.5%	13.0%	14.7%	26.8%
H25	16.5%	19.4%	14.1%	11.7%	4.5%	7.8%	14.1%	23.4%	25.4%

問 21 年金保険・健康保険・介護保険の制度を理解している市民の割合



『あなたは、年金保険・健康保険・介護保険のこと（仕組み、サービス、保険料）を理解していますか』の問いに対して、「理解している」が18.4%、「少し理解している」が37.5%となり、「理解している」と「少し理解している」を合わせた「理解している割合」は55.9%となっている。

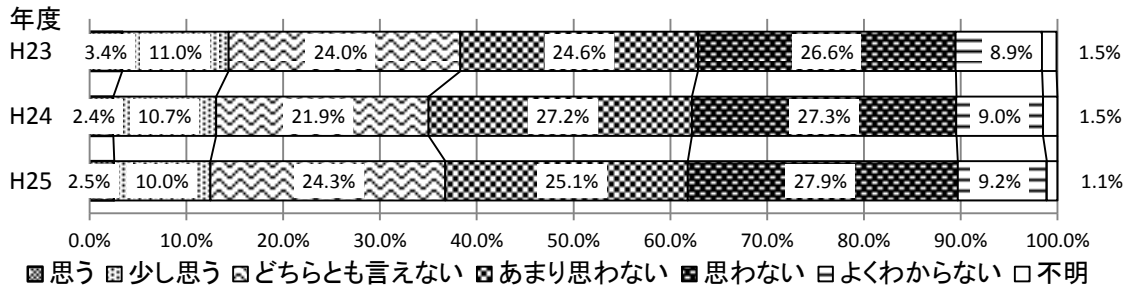
「理解している割合」を年齢階層別に見ると、60歳代以上の階層で60%を超えているが、50歳代以下では全体の割合に達していないことから、各制度の理解度に世代間での差が見られる結果となっている。

《クロス集計結果》「理解している」又は「少し理解している」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	55.7%	56.4%	55.7%	35.8%	43.5%	43.8%	54.9%	72.7%	68.0%
H24	55.5%	57.0%	54.1%	38.8%	36.1%	52.0%	50.3%	68.4%	70.2%
H25	55.9%	58.2%	53.9%	42.6%	44.6%	39.6%	54.5%	64.3%	70.8%



問 22 ハンディキャップのある方が住みやすい社会だと思う市民の割合



『あなたは、ハンディキャップのある方が住みやすい社会だと思いますか』の問いに対して、「思う」が2.5%、「少し思う」が10.0%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は12.5%となっている。

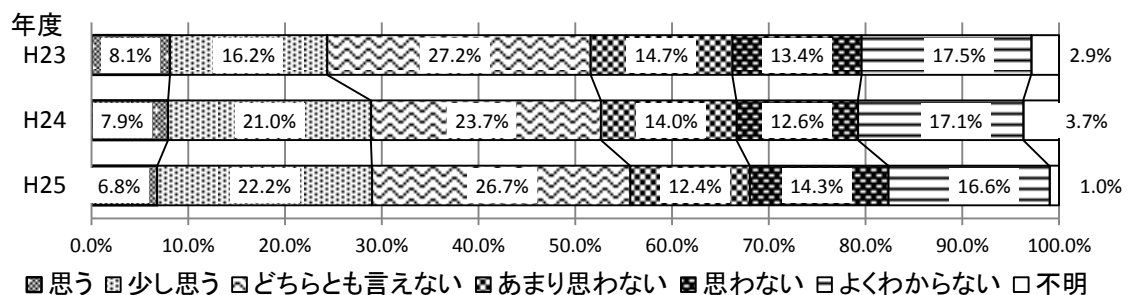
「思う意向」をH24年度と比較すると、0.6ポイント減少し、H23年度からの調査結果を見ても、10%台の低い水準で推移していることから、引き続きハンディキャップのある方のニーズに沿った環境整備とより一層の啓発活動を進めていくことが課題と考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層					
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
H23	14.4%	12.7%	4.9%	7.7%	6.9%	16.5%	17.9%	23.8%
H24	13.1%	12.0%	10.8%	6.0%	8.2%	11.9%	16.3%	20.7%
H25	12.5%	10.9%	11.7%	6.3%	11.6%	10.2%	11.9%	19.1%



問 23 安心して子供を産み育てる環境が整っていると思う市民の割合



『笛吹市は、安心して子供を産み育てる環境が整っていると思いますか』の問いに対して、「思う」が6.8%、「少し思う」が22.2%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は29.0%となっている。

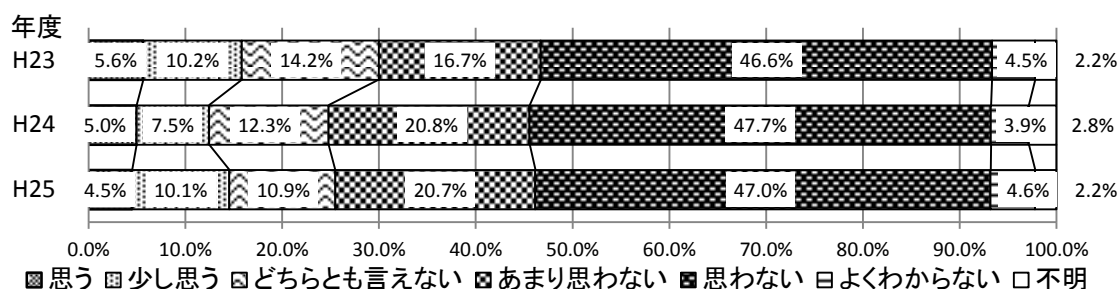
「思う意向」をH24年度と比較すると、0.1ポイントの微増で、その伸びを維持しており、アンケートの自由記入欄にも子どもすこやか医療費助成制度の年齢拡大やその他の子育て支援策の充実に対する肯定的意見が多く見られることから、引き続き本市の子育て支援に

対して一定の評価をいただいていることがうかがえる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	24.3%	23.1%	25.6%	17.9%	23.7%	21.3%	21.3%	26.7%	30.8%
H24	28.9%	28.0%	29.8%	26.9%	36.9%	24.0%	29.9%	27.4%	29.3%
H25	29.0%	30.3%	27.6%	37.2%	29.4%	31.0%	24.4%	27.1%	28.3%

問 24 鉄道やバスの接続がよく、利用しやすいと思う市民の割合



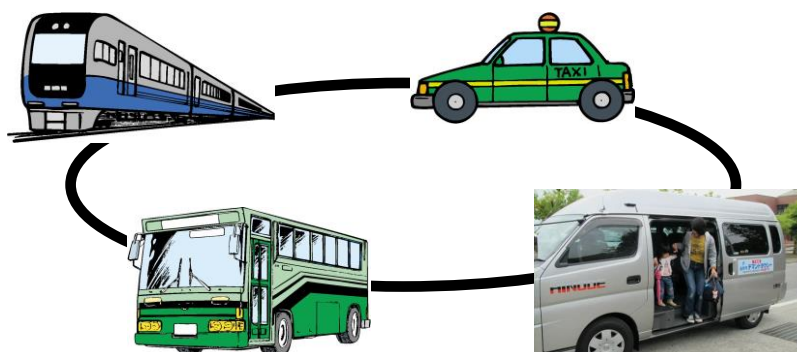
『笛吹市は、鉄道やバスの接続がよく、利用しやすいまちだと思いますか』の問いに対して、「思う」が4.5%、「少し思う」が10.1%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は14.6%となっている。

「思う意向」をH24年度と比較すると、2.1ポイント増加したものの、H23年度からの調査結果を見ると、10%台の低い水準で推移している。

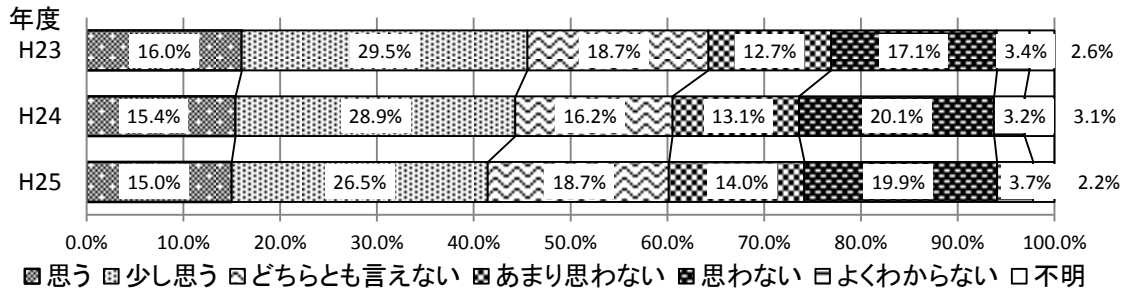
また、アンケートの自由記入欄に路線バス等の充実を望む意見が多く見られることから、引き続き公共交通機関相互の連携によるアクセス環境の向上や通院、通勤、通学等、ニーズに即した運行本数・時間帯の設定等、利用環境の向上を図る取り組みを強化していくことが課題と考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	15.8%	17.0%	15.0%	7.3%	7.6%	11.0%	13.4%	17.4%	29.1%
H24	12.5%	13.1%	12.2%	9.7%	6.0%	8.2%	6.7%	15.8%	23.7%
H25	14.6%	15.2%	13.9%	7.5%	9.8%	9.3%	10.9%	16.2%	24.4%



問 25 幹線道路が整備され、市内外への移動が円滑にできると思う市民の割合



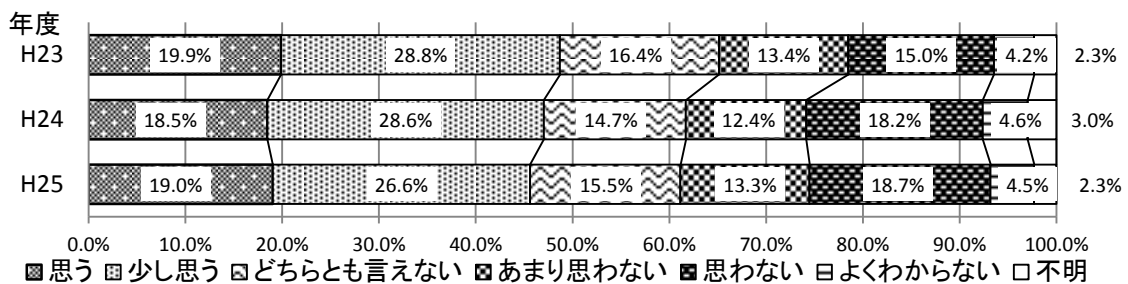
『笛吹市は、幹線道路が整備され、市内外への移動が円滑にできるまちだと思いますか』の問いに対して、「思う」が 15.0%、「少し思う」が 26.5%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 41.5%となっている。

「思う意向」を H24 年度と比較すると、2.8 ポイント減少し、H23 年度からの調査結果を見ても、下降傾向が続いていることから、引き続き幹線道路の整備については新規及び拡幅等、その有効性等を検証しながら進めていくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層					
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
H23	45.5%	43.9%	39.9%	36.7%	41.1%	41.5%	56.9%	51.1%
H24	44.3%	43.8%	44.1%	39.8%	44.5%	40.1%	46.8%	48.5%
H25	41.5%	39.8%	40.4%	42.0%	38.0%	37.1%	45.2%	43.9%

問 26 生活用の道路や水路が整備されていると思う市民の割合



『あなたが住んでいる地域は、生活用の道路や水路が整備されていると思いますか』の問いに対して、「思う」が 19.0%、「少し思う」が 26.6%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 45.6%となっている。

「思う意向」を H24 年度と比較すると、1.5 ポイント減少し、H23 年度からの調査結果を見ても、下降傾向が続いている。

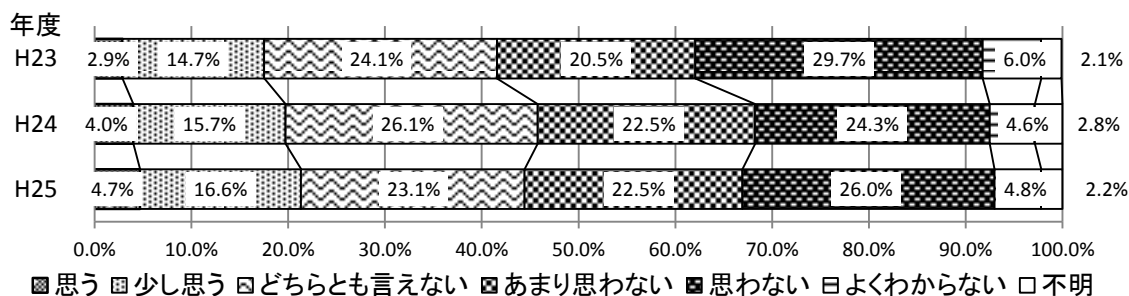
また、アンケートの自由記入欄には、前回調査と同様に道路幅の狭さ、歩道（通学路）、水路の整備に関する意見が多く見られることから、引き続き身近な生活用道水路の整備改良を順次進めていくことが重要であると考えられる。



《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	48.7%	50.8%	47.9%	44.7%	39.7%	41.8%	46.9%	57.5%	55.8%
H24	47.1%	48.6%	45.8%	52.7%	46.6%	36.3%	46.9%	50.0%	50.5%
H25	45.6%	45.8%	46.0%	51.1%	50.0%	42.7%	39.1%	46.2%	47.8%

問 27 市街地の魅力が高まっていると思う市民の割合



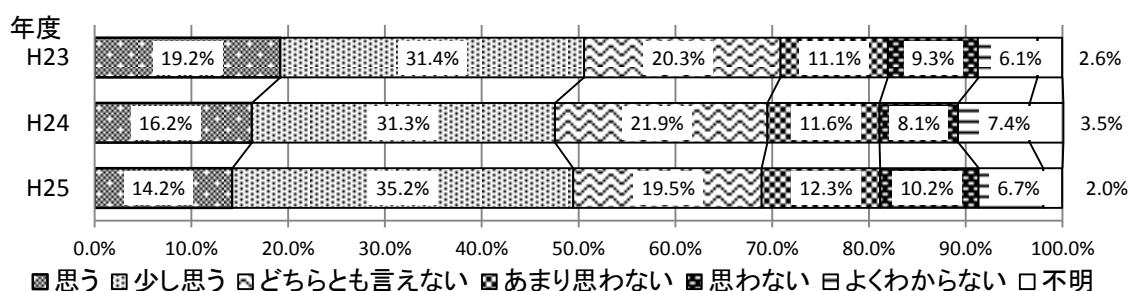
『笛吹市の市街地は、街としての魅力が高まっていると思いますか』の問いに対して、「思う」が4.7%、「少し思う」が16.6%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は21.3%となっている。

「思う意向」をH24年度と比較すると、1.6ポイント増加し、H23年度からの調査結果を見ても、若干ではあるが上昇傾向が続いているため、引き続き各地域の特色を活かした市街地整備、魅力ある拠点づくりを進めていくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	17.6%	18.3%	16.9%	15.4%	13.0%	13.0%	14.6%	17.8%	26.0%
H24	19.7%	16.3%	22.0%	21.5%	18.8%	15.1%	18.7%	18.9%	24.3%
H25	21.3%	20.4%	22.1%	26.6%	18.8%	15.6%	22.4%	20.0%	24.3%

問 28 消防や救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができると思う市民の割合

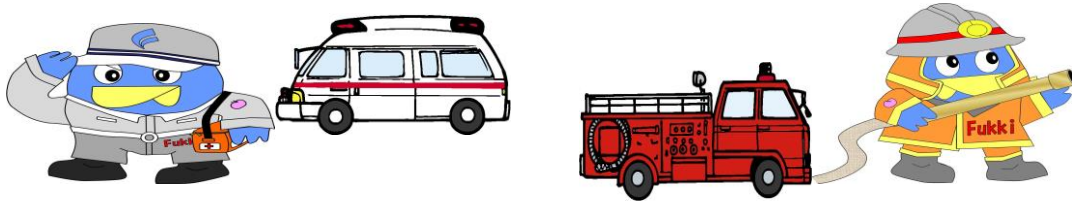


『あなたが住んでいる地域は、消防や救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができると思いますか』の問いに対して、「思う」が14.2%、「少し思う」が35.2%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は49.4%となっている。

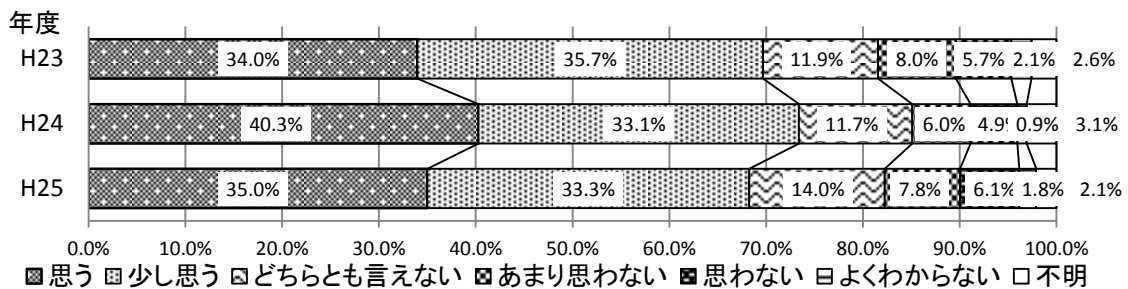
「思う意向」を H24 年度と比較すると、1.9 ポイント増加し、H23 年度からの調査結果を見ても、50%前後の水準で推移しているため、引き続き消防や救急医療体制の強化等、安心して暮らせる地域づくりを進めることが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	50.6%	52.1%	49.7%	38.2%	38.9%	41.7%	44.6%	58.5%	67.6%
H24	47.5%	47.8%	46.9%	39.8%	34.6%	41.1%	41.8%	57.4%	60.1%
H25	49.4%	49.7%	49.5%	47.9%	40.2%	43.5%	48.0%	50.9%	59.6%



問 29 花や緑にあふれ、身近に自然とふれあうことができると思う市民の割合



『あなたが住んでいる地域は、花や緑にあふれ、身近に自然とふれあうことができますか』の問いに対して、「思う」が 35.0%、「少し思う」が 33.3%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 68.3%となっている。

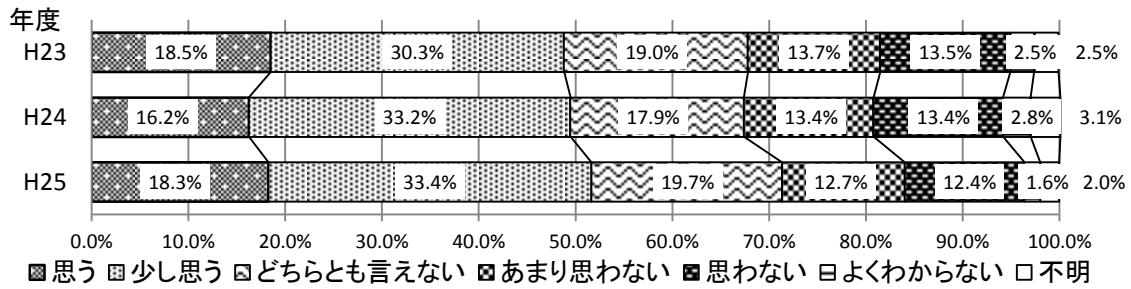
「思う意向」を H24 年度と比較すると、5.1 ポイントの減少したものの、H23 年度からの調査結果を見ると、「思う意向」は 70%前後の高い水準で推移していることから、身近に自然とふれあうことができる環境に恵まれていることが広く認識されていることがうかがえる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	69.7%	68.2%	71.4%	69.1%	80.9%	65.8%	67.1%	68.4%	70.5%
H24	73.4%	71.2%	75.2%	68.8%	77.5%	80.1%	71.1%	73.2%	70.7%
H25	68.3%	68.2%	68.6%	74.5%	75.9%	69.8%	68.0%	68.1%	61.4%



問 30 公害や不法投棄がなく、衛生的に暮らすことができると思う市民の割合



『あなたが住んでいる地域は、公害や不法投棄がなく、衛生的に暮らすことができますか』の問いに対して、「思う」が 18.3%、「少し思う」が 33.4%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 51.7%となっている。

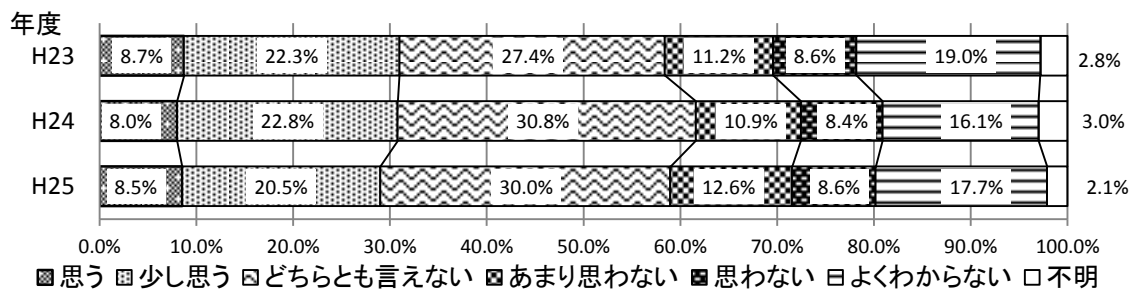
「思う意向」を H24 年度と比較すると、2.3 ポイント増加し、H23 年度からの調査結果を見ても、若干ではあるが上昇傾向が続いている。

ただし、アンケートの自由記入欄には、前回調査と同様に不法投棄、ペットのフンの始末、畑における野焼きや消毒に関する意見が多く見られることから、引き続きマナーやモラルを守るなど近隣への配慮と相互理解を深めるための各種啓発に努め、衛生的に暮らすことができる環境づくりを進めていくことが重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

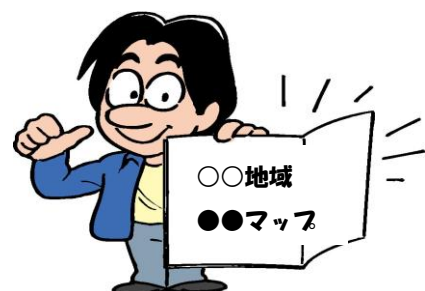
全体	性別		年齢階層						
	男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
H23	48.8%	47.0%	50.8%	44.7%	51.1%	44.5%	43.9%	56.9%	50.2%
H24	49.4%	49.1%	49.7%	50.5%	47.4%	53.5%	45.2%	49.5%	52.0%
H25	51.7%	50.5%	52.5%	51.0%	54.4%	52.0%	49.4%	51.5%	52.2%

問 31 市民活動や自治会活動が活発だと思う市民の割合



『笛吹市は、市民活動や自治会活動が活発だと思いますか』の問いに対して、「思う」が 8.5%、「少し思う」が 20.5%となり、「思う」と「少し思う」を合わせた「思う意向」は 29.0%となっている。

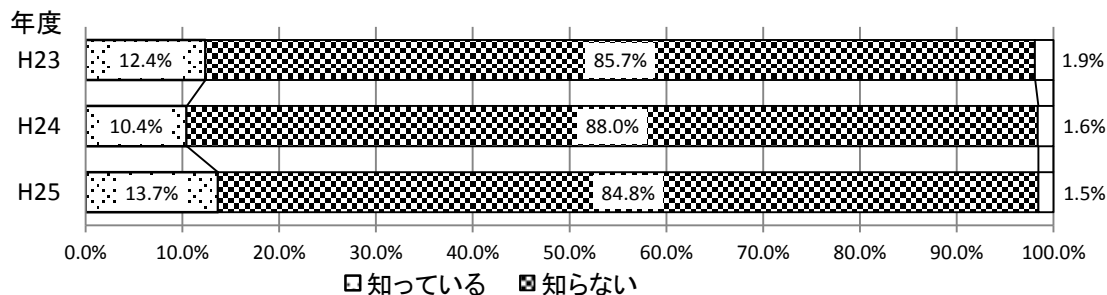
6 頁、問 10 の市民活動や自治会活動に参加している割合 (H25 : 53.1%) と比較すると、低い水準となっていることから、引き続き先進的な活動事例の情報提供を行う等、各活動を活発化していく取り組みを進めていくことが重要と考えられる。



《クロス集計結果》「思う」又は「少し思う」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	31.0%	30.3%	31.7%	17.9%	25.2%	30.8%	27.4%	36.7%	39.9%
H24	30.8%	30.0%	31.1%	24.8%	21.0%	30.9%	31.1%	31.0%	39.4%
H25	29.0%	33.9%	25.2%	22.3%	24.1%	32.5%	29.5%	28.1%	33.2%

問 32 市民と行政の協働について知っている市民の割合

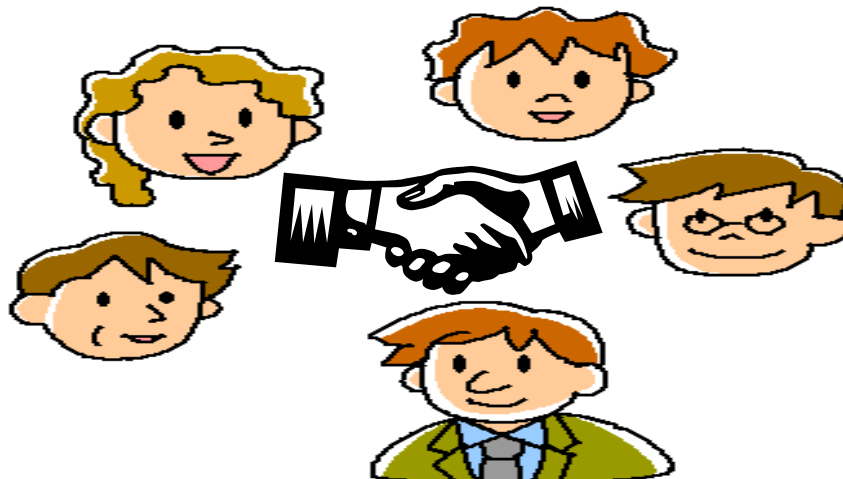


『あなたは、まちづくりにおける「協働」について知っていますか』の問いに対して、「知っている」が13.7%、「知らない」が84.8%となっている。

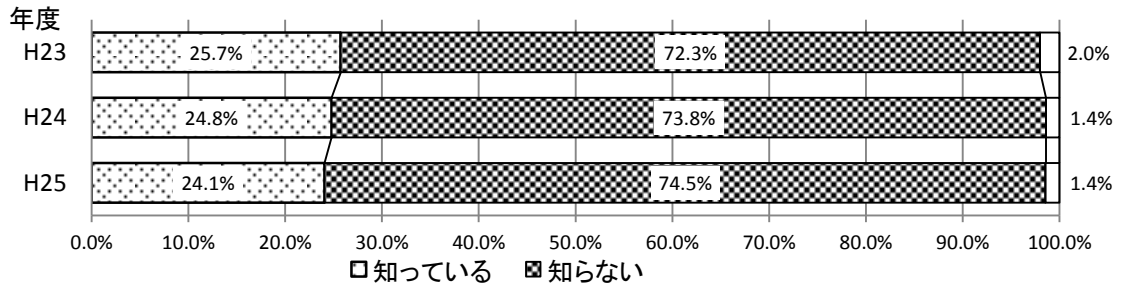
「知っている」と答えた割合をH24年度と比較すると、3.3ポイント増加したものの、H23年度からの3年間の調査結果を見ると、10%台の低い水準で推移していることから、引き続き具体的な情報発信を行い、市民と行政がともに手を取りあい進めるまちづくり、市民と行政の協働によるまちづくりに関する意識の高揚を図っていくことが課題と考えられる。

《クロス集計結果》「知っている」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	12.4%	15.0%	10.4%	4.9%	9.2%	6.8%	12.2%	14.4%	20.8%
H24	10.4%	12.3%	9.2%	10.8%	3.8%	9.6%	8.5%	12.1%	16.2%
H25	13.7%	17.4%	10.5%	7.4%	4.5%	7.0%	9.6%	16.7%	25.4%



問 33 男女共同参画推進条例の制定を知っている市民の割合

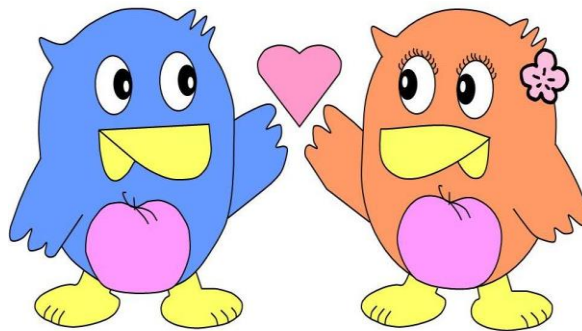


『あなたは、市民提案による「笛吹市男女共同参画推進条例」が制定されたことを知っていますか』の問いに対して、「知っている」が24.1%、「知らない」が74.5%となっている。

「知っている」と答えた割合をH24年度と比較すると、0.9ポイント減少し、H23年度からの調査結果を見ても、20%台の水準で推移していることから、引き続き男女共同参画推進条例の周知とその着実な推進が重要であると考えられる。

《クロス集計結果》「知っている」と答えた割合

全体	性別		年齢階層						
	男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
H23	25.7%	24.6%	26.9%	11.4%	16.0%	17.8%	28.7%	39.1%	31.2%
H24	24.8%	21.2%	27.5%	11.8%	18.8%	17.1%	28.2%	32.6%	30.8%
H25	24.1%	21.9%	25.4%	16.0%	14.3%	13.2%	23.7%	28.1%	35.6%



この度は、平成25年度 まちづくり基礎調査(アンケート)にご協力いただき、ありがとうございました。

本調査(アンケート)の結果については、市役所内で情報共有するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。